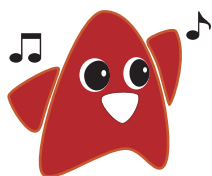


明るく豊かな暮らしのために



LPガスは

(プロパンガス)

正しく安全に使いましょう

このリーフレットは液化石油ガス法にもとづいて
ご家庭にお届けするものです。ご家族全員でご覧ください。



緊急時のご連絡先

土佐ガス株式会社

本 社	高知市葛島2丁目3番75号	TEL(088)800-1212
横 浜 工 場	高知市横浜 7 2 1 番 地	TEL(088)800-1212
佐 川 営 業 所	高岡郡佐川町乙1902番地6	TEL(0889)22-0315
幡 多 支 店	四万十市古津賀1丁目139番地	TEL(0880)35-4372

土佐ガス西部販売株式会社

土佐清水営業所	土佐清水市天神町2-13	TEL(0880)82-4010
中村営業所	四万十市古津賀1丁目139番地	TEL(0880)35-4372
宿毛営業所	宿毛市港南台2丁目9-16	TEL(0880)65-8136

株式会社窪川ガス

高岡郡四万十町窪川696-1	TEL(0880)22-2886
----------------	------------------

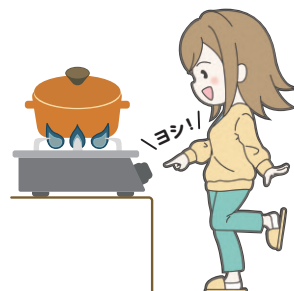


1 点火・消火は必ず目で確かめましょう。

- ガス機器の近くに燃えやすいものを置かないでください。
- マッチ等にて点火する場合は、先にマッチ等に点火してから器具栓を開いてください。



点火・消火の確認

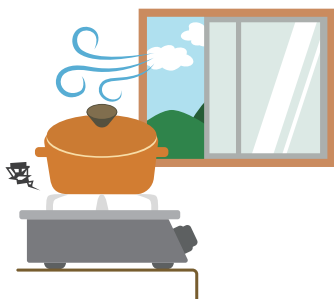


2 立消えや過熱に気を付けましょう。

- 風や煮こぼれで火が消えたり、天ぷらを揚げているときに、鍋の中に火がつくことがあり、大変危険です。ガスを使っているときはその場を離れないようにしましょう。



煮こぼれによる立ち消え



風による立ち消え



天ぷら油の過熱

★立ち消え安全装置付きコンロ

風や煮こぼれなどで火が消えると安全装置が働き、自動的にガスを止めます。安全装置のセンサーが汚れているときは、正しく働かない場合があるので掃除してください。

★過熱防止装置付きコンロ

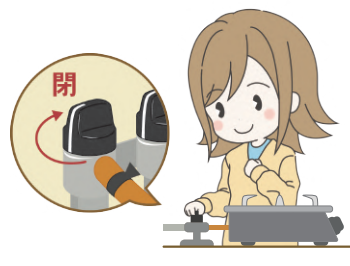
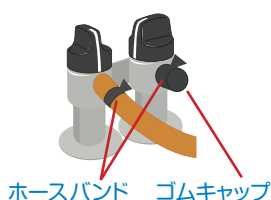
天ぷら鍋などが熱くなりすぎると自動的にガスを止め、過熱による火災を防ぎます。

★Siセンサー

Siセンサー（調理油過熱防止装置・立ち消え安全装置・消し忘れ消火機能）コンロをおすすめします。

3 おやすみ前や、お出かけになる時は、必ずガス栓・器具栓を閉めましょう。

- 使用後は同時にガス栓も閉める習慣をつけましょう。
- 使っていないガス栓には、必ずゴムキャップをつけてください。





4 LPガスは青い炎で使いましょう。

空気孔の調節が正しくないと熱が無駄になって不経済であるばかりでなく、不完全燃焼をおこし一酸化炭素中毒の原因となります。(赤っぽい炎は不完全燃焼の炎です。)

- 煮こぼれなどでバーナーがつまると炎がふぞろいになります。目づまりは、不完全燃焼の原因となります。ときどき器具ブラシなどで掃除をしてください。
- ガス機器のお手入れなどで、ねじなどを取りはずす必要がある場合は、ご自身でお手入れせずに、必ず当社へご連絡ください。



5 ガス器具は、LPガス用の合格マークのあるものを選びましょう。

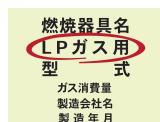
- 新しい器具をご使用になる時は取扱説明書をよく読んでください。
- LPガス用の器具は全国どこでも同じです。
- 都市ガス用の器具は使えません。

※ LPガス用器具には、下記のような表示がありますので、ご確認ください。

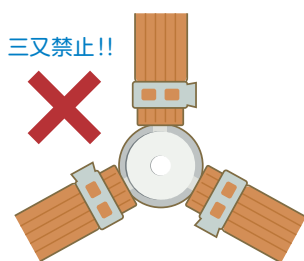
■ 検定マーク

■ 自主検査マーク

■ 製造会社のプレート



6 ゴム管はときどき点検し、2～3年を目安に交換しましょう。



- 三又を使ったり、ゴム管を長くしたり、物かげを通したりすることはやめましょう。
- ガスもれを点検するには石けん水を使いましょう。
- ゴム管は元栓の赤い線まで差しこみ、ホースバンドでしっかりとめてください。
- ゴム管をつけたまま、ガス器具を動かしたり、ゴム管を折り曲げたり、ねじったりしないでください。
- オレンジ色のLPガス専用のゴム管を使いましょう。



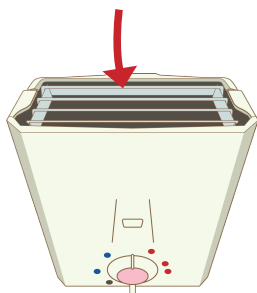
7 換気に注意しましょう。

LPガスには有害な一酸化炭素(CO)は含まれていませんが、給排気等の不良、燃焼器具の間違った使い方が発生します。過去には、一酸化炭素中毒を起こし死に至った事故例があります。屋内で燃焼器具を使用するときには、充分換気を行いましょう。

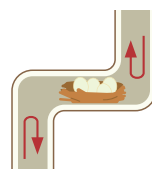
- ご要望により、CO点検を実施します。
なお、CO点検で異常があった場合は、直ちに交換してください。
不完全燃焼防止機能が付いていないガス機器は、交換をお願いします。
- ご使用中に安全装置が作動し、再度点火しないとき再点火を繰り返すと一酸化炭素中毒事故につながるおそれがあります。
このようなときは使用を中止し、当社にご連絡ください。

★小型湯沸器や ガストーブ等をご使用の方へ

ここがフィンです。



- 排気のフィンがほこりなどで目づまりしていないか確認してください。
- 室内でガストーブ、ガスファンヒーターを使用するときは、必ず30分に1回1分程度、窓を開けて換気してください。
- 小型湯沸器をお風呂に使ったり、シャワーとして使用することは絶対におやめください。



※ 排気筒の中に鳥の巣などの障害物がないか注意しましょう。排気を妨げてしまい、不完全燃焼を起こすことがあります。



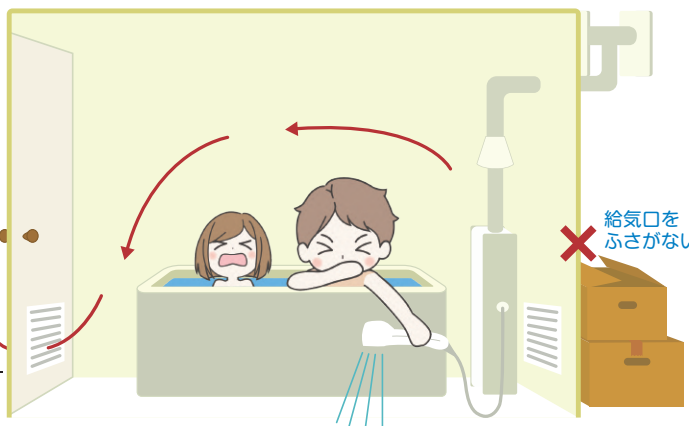
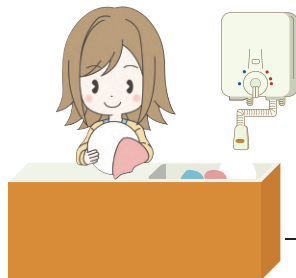
※ 排気筒がズレたり外れた状態でご使用になると排ガスが屋外に排出されず、浴室内にたまって一酸化炭素中毒の原因となります。

★煙突(排気筒)のある燃焼器具を室内でご使用の方へ

- イラストのような自然排気式のふろがまと小型湯沸器を同時に使用したり、入浴中に他室の換気扇を回したりしないでください。排気が逆流すると新鮮な空気が不足し、不完全燃焼を起こして大変危険です。



シャワー中に他室で換気扇を回さないで!



排気筒(煙突)

給気口をふさがない

- CO警報器を取り付けるか、自然排気式以外の器具に取替えましょう。



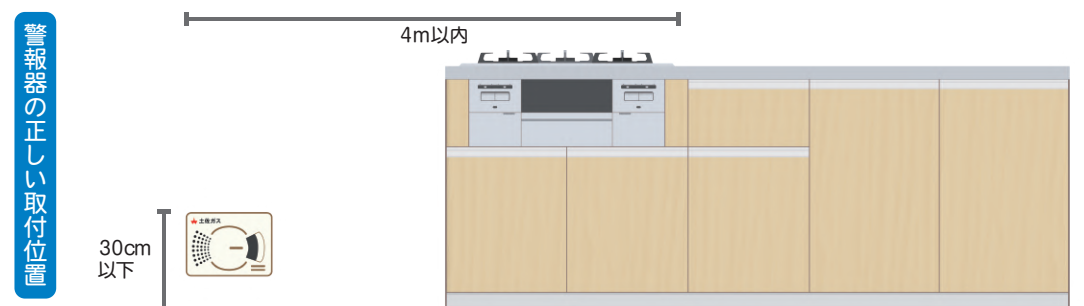
8 こんな時は当社までご連絡ください。

- LPガス設備の工事や新しくガス機器を設置するときや取り外す時。(事前にご連絡ください。)
また変更したときも当社へご連絡ください。
- 新築、転居などで新たにガスを使用する時ややめる時。
- ストーブなど季節の器具の取り付け、取り外しをする時。
- 配管工事やふろがま、給湯器などの設置・修理には、法律上の資格が必要ですので当社にご相談ください。
- 当社に無断で工事をしたり、器具の取付け・移動などをおこなって万一事故が発生したときにはトラブルの原因にもなりますので、くれぐれもご注意ください。

9 万ーのために、安全器具を取り付けましょう。

★ガス警報器

- ガス警報器は、ガスもれを検知し、ブザーを鳴らして知らせます。
- 必ずグリーンラベルの付いたものをご使用ください。
- 殺虫剤などで鳴ることがありますが、すぐ鳴り止みますので
電源プラグを抜かないでください。
いつも電源を入れておきましょう！！



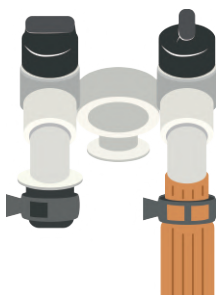
- ガス警報器の電源プラグは常時コンセントに差し込んでおきましょう。
- ガス警報器のまわりに物を置かないようにしましょう。
- ガス警報器が交換期限内のものかを確認しましょう。

※ 共同住宅、学校、病院などの人が多く集まる施設、地下室等に燃焼器具が設置されている場合には、原則として法令によりLPガス用ガス警報器の設置が義務付けられています。



★ヒューズコック(ガス栓)

- ゴム管が外れたりしてガスが大量に流れたとき自動的にガスを止め、ガスもれを防ぎます。



★マイコンメーターが24時間監視します。

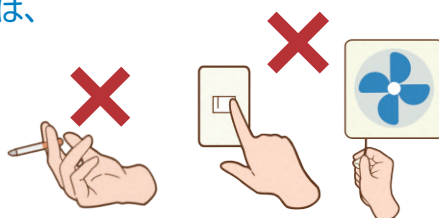
- 震度5程度以上の大きな地震の時はガスを止めます。
- 使っていないガス栓を開いてしまったり、ゴム管が外れたりして大量のガスが流れたとき自動的にガスを止めます。
- お風呂の消し忘れなど、必要以上にガス機器を長時間使用したときガスを止めます。
- ガス警報器などの外部から警報信号が入ったとき自動的にガスを止めます。
- ゴム管のひび割れや配管の接合部からのわずかなガスもれが30日以上続いたとき液晶ランプで表示します。



10 もしも、ガスもれが起きたら。

ガスのにおいに気付いた時やガス警報器が鳴った時は、次のことを守って落ち着いて行動してください。

- ① 火気を絶対に使用しないでください。
室内の火は全部消してください。
コンセントの差し込みやスイッチに触れないでください。
換気扇は絶対に回さないでください。
- ② 扉や窓を充分に開けてガスを外に追いだしてください。
すべてのガス栓・器具栓を閉めてください。



- ③ 当社に至急連絡し、点検を受けるまではガスを使わないでください。



11 災害のときは自分の身を守りましょう。

緊急連絡はあわてず氏名・住所・状況をはっきりと知らせてください。



★火災のときは

- ① 容器バルブを閉め、消防署員などに容器の位置を知らせて後の処理を頼むほか、当社にご連絡ください。

★地震のときは

- ① あわてずにガス栓・器具栓を閉め、火を全部消してください。
- ② 容器バルブを閉めてください。
- ③ 大きな地震のあとは、必ず当社の点検を受けてからご使用ください。



容器が転倒または流出しないようにしっかりと固定されているか確かめてください。

★洪水のおそれがあるときは

- ① 容器バルブを閉めてください。
- ② LPガス設備が水をかぶったときは、当社の点検を受けてからご使用ください。

容器バルブの閉め方

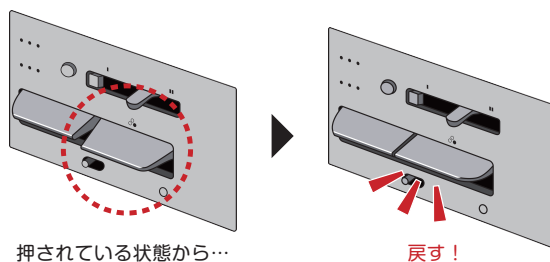
容器バルブは、容器の上部にあり図のようになっています。緊急の場合、閉めるときは時計まわりにまわすと閉まります。災害のときに容器バルブを閉めることは、二次災害を防ぐためにも有効です。





12 メーターの復帰手順

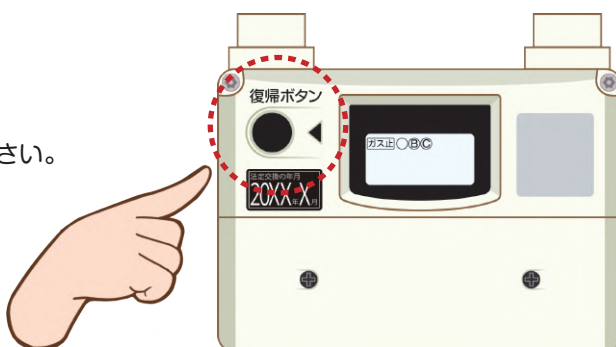
- ① ガス機器の器具栓を全て閉めてください。



押されている状態から…

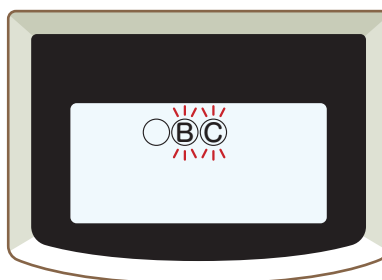
戻す！

- ② 復帰ボタンを2秒ほど押してください。
「ガス止」の文字が消えます。



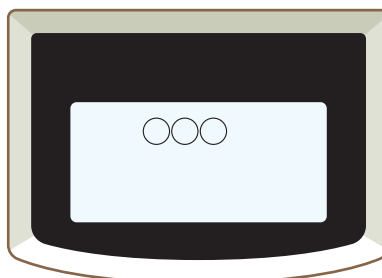
- ③ 液晶の文字と赤ランプが点滅します。
約1分ほどお待ちください。

※「赤ランプ」は液晶のものもあります。



- ④ 液晶の文字と赤ランプが消えると、
復帰完了です。

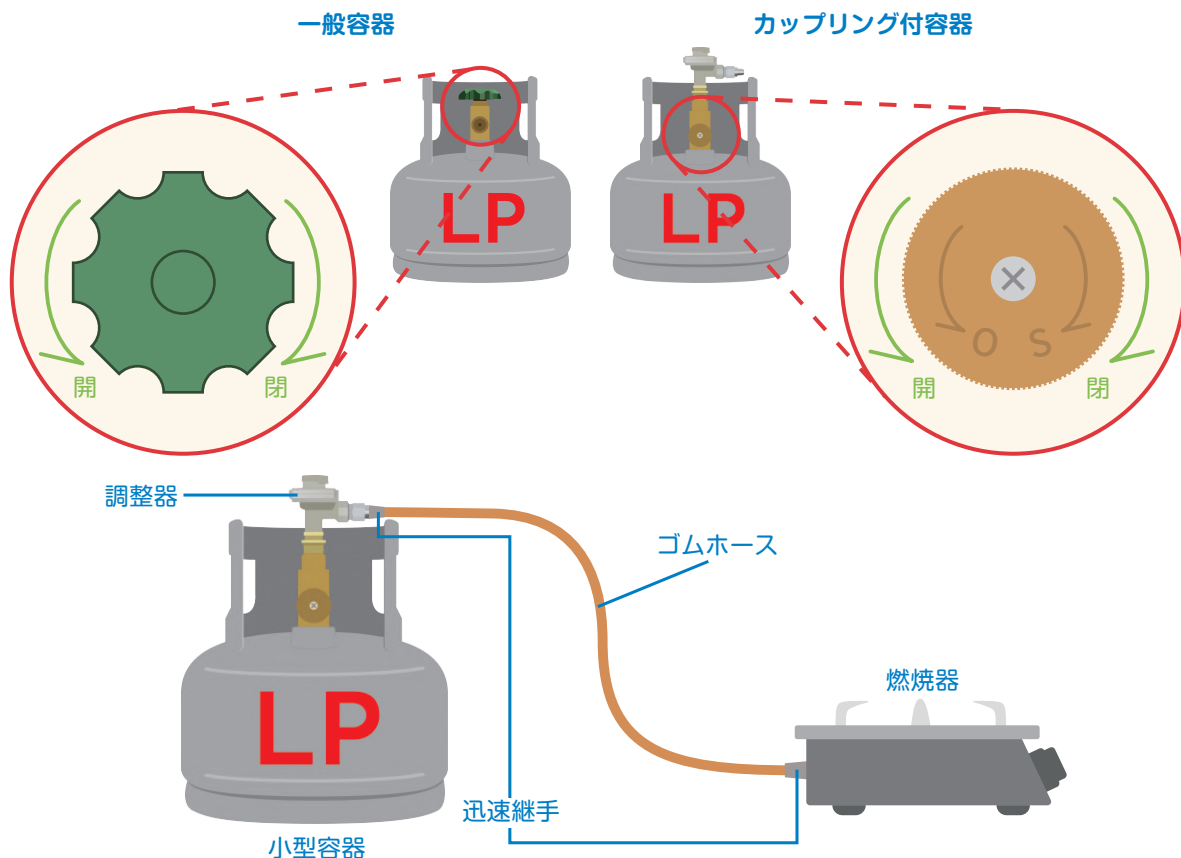
※ 復帰しない場合は、復帰を繰り返さず
土佐ガスグループまでお電話ください。





13 小型容器(8kg以下の容器)をご使用の場合は次のことを守ってください。

平成20年7月より当社ではカップリング付容器の充填のみを行っております。安全の為、カップリング付容器に交換することをおすすめします。



★容器

- 調整器のないものは使用できません。
- 容器は横に倒して使用しないでください。
- 容器は40℃以下に保つよう、火気または、熱気などから離して使用してください。
- 容器が転倒しない平らな場所で使用してください。
- 使用後は必ずバルブを閉めてください。

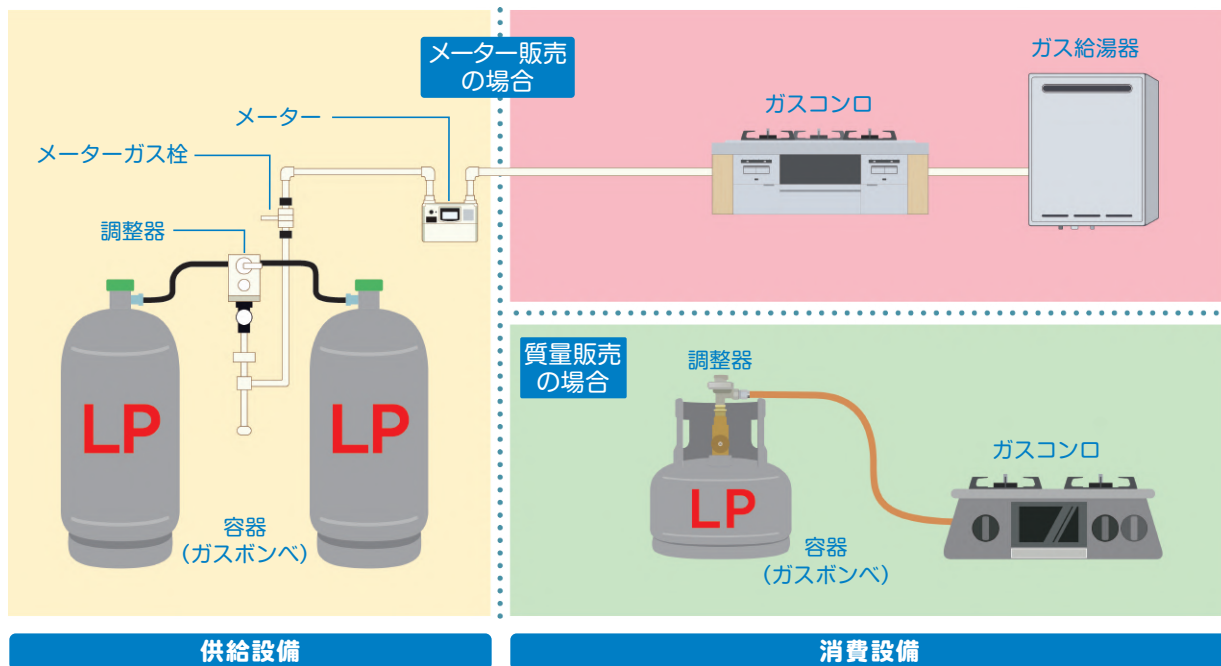
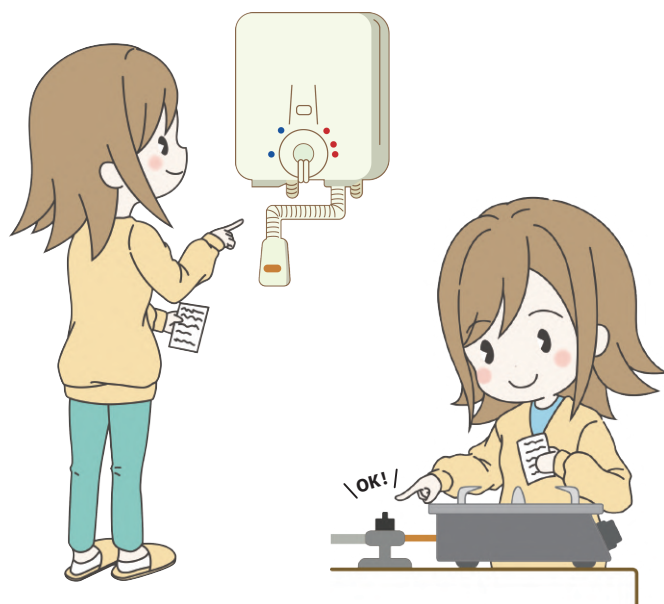
★調整器

- 調整器とボンベの接続部を緩めると危険ですから触らないでください。
- ゴムホースとの接続は迅速継手を使用し、これ以外の時は、ホースバンドを必ず締め付けてください。
- 容器を使用しないときは、火気・熱気・直射日光をさけて、風通しのよい場所に保管してください。
- 保管場所は、押し入れ、廊下の片隅等をさけて専門置場に置いてください。



14 日常の安全管理はぜひご家庭で実施してください。

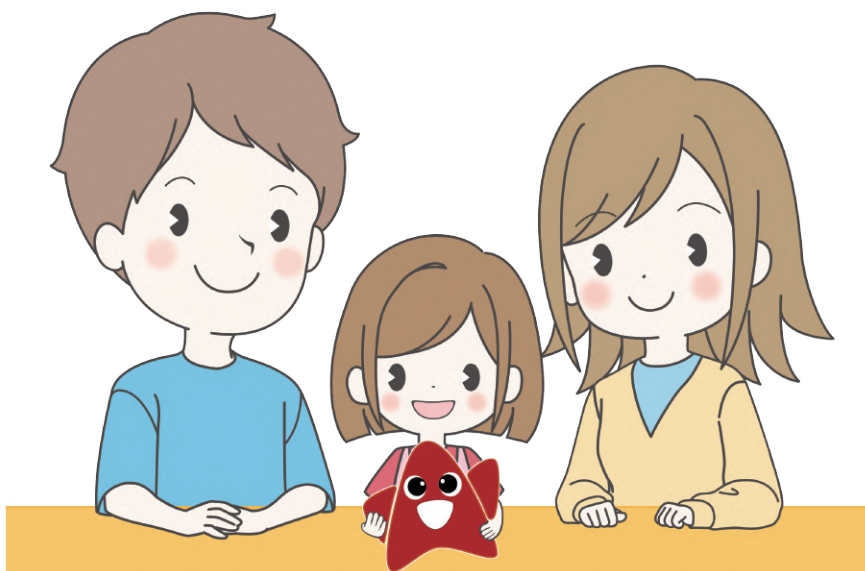
- 供給設備は販売店が管理しますが、異常にお気づきの時は、すみやかに当社にお知らせください。
- 消費設備の安全管理については、充分ご留意くださるようお願いいたします。



供給設備〈当社の責任範囲〉

消費設備〈消費者の責任範囲〉

日常の保守管理は、消費者の方が管理してください。



土佐ガスグループは あなたの安全パートナーです。

- 新築、転居などの場合で初めてガスをお使いになるときや、新しいガス機器をお使いになるときは、必ず当社に連絡して点検を受けてください。
- 保安調査には、ぜひご協力ください。それがあなたの安全を守ります。

★土佐ガスグループ

<https://www.tosagas.co.jp/>